

志教育推進事業推進地区 丸森中学校区の実践概要



つなごう丸森 高めようまちへの想い

夢をはぐくみ **志**に高める



志教育支援事業丸森町推進地区連絡協議会

丸森町志教育実践構想図

宮城県の教育施策の基本方向

「志教育」を一層推進し、社会性や勤労観、職業観の涵養を図るとともに、「志教育を通して何事にも確かな意欲を持って取り組むことにより、知・徳・体のバランスの取れた人格の形成を促し、生きる力を育む。

丸森町学校教育目標

志教育を通して、自分のより良い生き方・あり方を考えさせ、人生を切り拓き社会を行きぬく力を育成する。夢や志を持ち、学びのモチベーションを高め、より意欲的・継続的に実現に向かって励むことができるように、志教育の教育課程の創意工夫を進める。

保護者・地域の願い
積極的に自分の意見を述べるようになってほしい。
夢を持ち、実現に向けて努力できる人になってほしい。
地域産業の担い手になって社会に貢献してほしい。

児童生徒の実態・

教師の願い

素直で優しい。コミュニケーションを積極的にとったり、自分の気持ちを表現したりすることが苦手である。
意欲的に学習や進路の実現に向かって努力することができるようになってほしい。積極的に他者とかかわりを持ち、望ましい社会性を身に付けてほしい。

【丸森中学校学区統一テーマ】

つながろう丸森 高めようまちへの想い

目標

子供たちが丸森町を誇りに思い、自信と意欲を持って未来を切り拓いていけるよう、集団や社会の中ではたすべき自己の役割を考えさせながら、よりよい生き方を求めさせていく志教育を丸森中学校区を核として推進する。

志教育連絡協議会

学校、家庭及び地域社会の密接なかかわりや、小・中・高・特別支援学校の積極的な交流を通して、心豊かで、主体的、能動的に社会に貢献する児童生徒の育成を図る。

【取組方針】

- (1) 各学校における「志教育」の実践活動を通し、児童生徒の豊かな人間性を育むとともに自分の夢や希望の実現に向けて努力しようとする人づくりをする。
- (2) 小・中・高・支援学校の連携のよりよい在り方を志教育の視点から探り、交流活動を充実させることにより丸森中学校区の志教育を推進する。
- (3) 同じ地域に生活する人や自然とかかわる中で、ふるさと「まるもり」に誇りを持ち、故郷の未来を想うことのできる子供たちを育てる。

志教育推進委員会

志教育を推進するために小・中・高・特別支援学校で連絡、調整を図りながら活動計画を立案し、実施する。

重点指導事項

かかわる

もとめる

はたす

【小学校】

- 身近な人々と接しながら、あいさつや返事をし、自分の気持ちを伝えることができるようにする。
- 友人と協力する中で、互いのよさを認め合ったり励まし合ったりすることができるようにする。
- 様々な集団の中で自己を生かすことができるようにする。

【中学校】

- 自己を肯定的にとらえさせ、自分の長所に気付かせるとともに、コミュニケーション能力を高めさせる。
- 自己理解と他者理解を深めさせ、地域社会とも積極的にかかわらせる。
- 様々な人の生き方にふれさせ、よりよい人間関係を築いていこうとする意欲と態度を育む。

【高等学校】

- 様々な人とかかわりを通じて、自他の人権を大切にすること、他人を思いやり尊重する心や態度を育てることができるようにする。

【特別支援学校】

- 元気にあいさつができるようにする。
- 指示や約束を守り、友人とかかわりながら集団生活を送らせる。

【小学校】

- 自分の好きなことや興味を持ったことに進んで取り組ませる。
- 自己の良さや能力を踏まえて、目標を持って学習や体験活動に取り組ませる。
- 夢や希望を持ち、将来の生活や仕事について、学習や体験活動を通して考えるようにさせる。

【中学校】

- 今の学習が将来の職業生活につながることを意識させ、主体的な学び方を身に付けさせる。
- 学習や体験活動を通して、職業の社会的意義や勤労の意義について気付かせる。
- 望ましい職業観・勤労観と自己の将来の生き方を重ねて、よりよい自己の在り方、社会の在り方を探求させる。

【高等学校】

- 就業体験学習を通して、個々の適性を理解させる。
- 自分の生き方を求めて進路を模索することにより、自分の意思と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身に付けさせる。

【特別支援学校】

- 将来の生活を意識し、必要な知識や技能を身に付けさせる。
- 興味のあることを見つけ、生活を楽しむ。

【小学校】

- 家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心を持って取り組ませる。
- 係活動の必要性がわかり、自分の役割に積極的に取り組ませる。
- 体験活動を通して、自己の役割や責任、人のために役立つ喜びを自覚させる。

【中学校】

- 学校生活における自己の役割を果たせるとともに、集団の一員としての自覚を持たせる。
- 学校内外での学習活動を通して、自分が地域の一員として役立つ存在であるという自己有用感を高める。
- よりよい社会の実現のために自己の果たすべき役割を自覚し、将来の進路や生き方に意欲を持たせる。

【高等学校】

- AMORE運動（あいさつ、身だしなみ、お掃除、ルールを守る、エコライフする）の実践を通して、自らの行動に責任を持ち、主体的に判断・行動し、積極的に自己を生かしていく能力（生きる力）を育成する。

【特別支援学校】

- 係活動や清掃活動に進んで取り組ませる。
- 集団の一員としての役割を果たそうとする。

家庭との連携

- PTA活動 ・ 連絡帳 ・ 個別相談
- 情報発信（おたより、HP）・進路相談
- 個別の教育支援計画 ・ 成長の記録
- 公開授業 ・ 行事の公開 ・ 学校評価

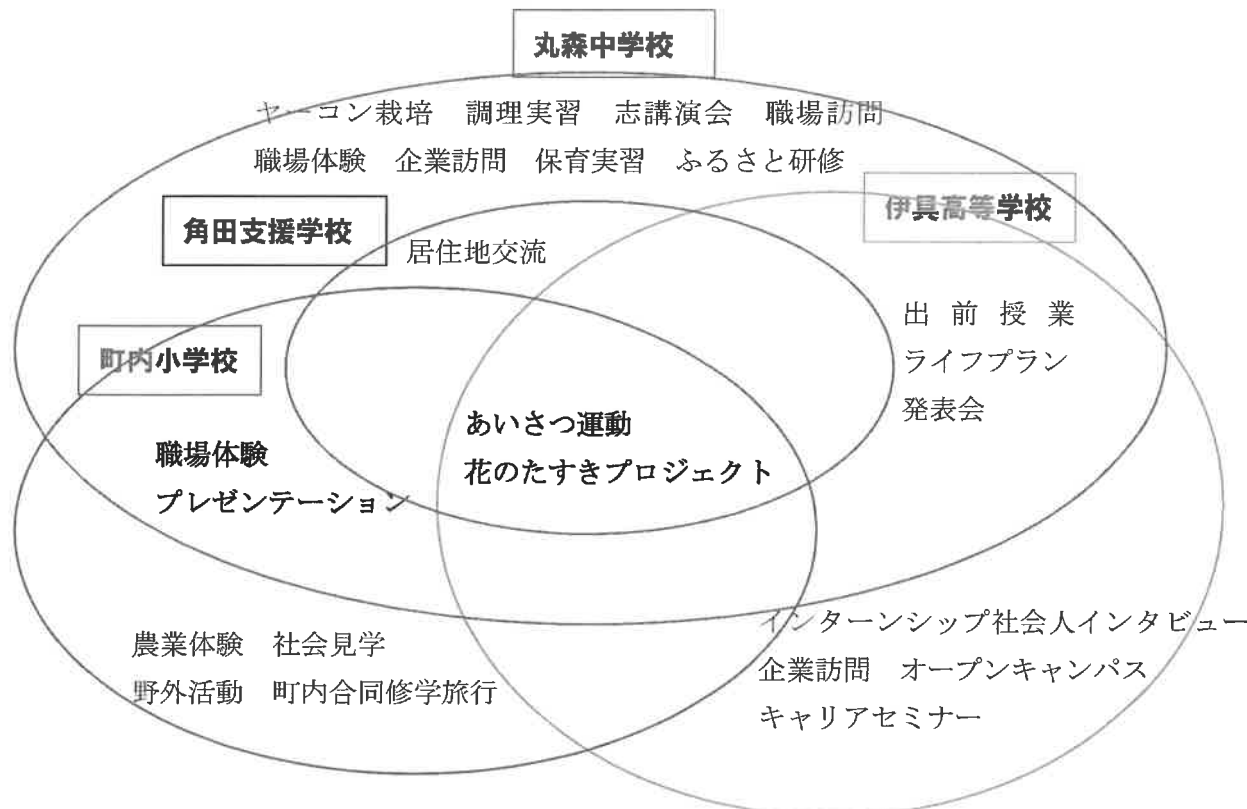
学校間の連携

- 学校行事への参加 ・ 合同修学旅行
- 相互授業参観 ・ 授業参観
- 学校説明会、オープンスクール
- 部活動協力 ・ あいさつ運動
- 花のたすきプロジェクト
- 職場体験プレゼンテーション
- ライフプラン発表会

地域・企業等の連携

- 地域の行事に参加 ・ 芸術鑑賞
- 講演会 ・ 職場訪問 ・ 職場体験
- 就業体験 ・ あいさつ運動
- 花のたすきプロジェクト

各学校の特色を生じた取組



月	協議会等	丸森町内小学校	丸森中学校	伊具高等学校	角田特別支援学校
4		組織づくり	組織づくり	組織づくり	組織づくり
5	推進委員会	農業体験 読み聞かせ 昔話の会 運動会 社会見学	リレー大会 ヤーコン栽培		
6	連絡協議会	昔話の会 野外活動 小学校間学習交流			
7	推進委員会	P T A親子行事活動	志講演会 居住地交流	花苗づくり	居住地交流
8	推進委員会 連絡協議会	社会見学 野外活動 花苗移植	プランター準備 花苗移植	花苗移植指導	
9		花苗移植 社会見学 野外活動	職場訪問 職場体験 企業訪問		花苗移植
10	推進委員会 連絡協議会	学習発表会 農業体験 プランター配付 あいさつ運動 町内合同修学旅行	職場体験プレゼン プランター配付 あいさつ運動 居住地交流	あいさつ運動	プランター配付 あいさつ運動 居住地交流
11	志フォーラム 推進委員会 連絡協議会	小学校間学習交流 あいさつ運動 農業体験	プランター配付 あいさつ運動 出前授業 保育実習	あいさつ運動 出前授業	あいさつ運動
12	推進委員会 実践事例発表会		ふるさと研修 調理実習		
1	推進委員会	社会見学			
2		社会見学・体験		ライフプラン 発表会	
3		地区まつり	ライフプラン発 表会	ライフプラン 発表会	

あいさつ運動

1 実施期間

第1次 9月18日(火), 26日(水), 27日(木), 28日(金)
10月1日(月)

第2次 11月6日(火), 13日(火), 14日(水), 15日(木), 16日(金)
21日(水), 26日(月)

2 志教育との関連

かかわる

○あいさつ運動を通して, 小・中・高・支援学区と連携しながら, 地域の方々とコミュニケーションを図る。

はたす

○地域でのあいさつ運動を通して, 地域の一員としての自覚を持ち, 地域との関わりを深める。



3 具体的な活動の流れ

(1) 事前指導

- ①あいさつ運動を行う意義について理解する。
- ②活動区ごとの活動内容と役割を確認する。

(2) 体験活動

それぞれの地区で, 小学生・中学生・高校生が協力して, 地域の方々にあいさつを行った。



(3) 事後指導

- ①活動区ごとに活動を振り返り, 次年度に引き継ぐ。



4 活動の振り返り

成果

- ・あいさつによって, 地域の一員としての意識が高まった。
- ・主体的にあいさつしようとする姿が見られ, 地域と積極的に関わろうとする意欲が向上した。

課題

- ・地域によっては, 活動時間中に通る人が少なく, 車に対するあいさつの活動になってしまった。
- ・活動の時期や回数, 各校の行事等を配慮, 調整しながら継続していく必要がある。

花のたすきプロジェクト

1 実施期間

9月～11月

2 志教育との関連

かかわる

○花苗の栽培を通して、小・中・高・支援学区の連携を図り、交流活動を充実させる。

はたす

○学区内の各施設に育てた花苗を設置させてもらうなど、地域の環境整備や地域との関わりを通して、地域への想いを伝える。



3 具体的な活動の流れ

(1) 事前指導

①「花のたすきプロジェクト」を行う意義について理解する。

②活動内容と役割を確認する。

(2) 体験活動（第2学年）

①プランター作り

ステッカーを貼り、二種類の培養土に花の苗（伊具高校が準備）を植える。伊具高校の先生や高校生の指導のもとにプランターを完成させる。

②花の管理

水をやり、枯れた花や葉を取り除く。

③職場体験等で利用した事業所や町の施設にプランターを届ける

(3) 事後指導

活動を振り返り、次年度に引き継ぐ。



4 活動の振り返り

成果

- ・町の美化に貢献することを通して、町への関心を深めるとともに、地域の一員としての意識が高まった。プランターを届けた施設から感謝され活動の意義を感じることができた。

課題

- ・活動時期については、花の開花時期や各校の行事等を配慮、調整し、決定する必要がある。

職場体験プレゼンテーション

1 実施期間

10月13日(土)
(小学6年生を文化祭に招き実施)

2 志教育との関連

もとめる

○職場訪問(1年)・職場体験(2年)・企業訪問(3年)を通して、働くことの意義を学ぶ。

かかわる

○職場体験(2年)・企業訪問(3年)での職業体験を通して、働くことへの意識を高めるとともに正しい職業観を身に付ける。

○職場体験プレゼンテーションを通して、小・中・高・支援学区の連携を図り、交流活動を充実させる。

はたす

○職場体験プレゼンテーションを通して、自らが学んだことをまとめ伝えるとともに、職業意識や地域との関わりを深め、自分の将来や地域の未来への想いを高める。



3 具体的な活動の流れ

(1) 事前指導

職場体験プレゼンテーションを行う意義について理解する。

(2) 職場体験プレゼンテーション

発表者は、内容が伝わるよう工夫して発表する。聴衆はそれぞれの発表を聞くことを通して、働くことの意義を学ぶ。

(3) 事後指導

それぞれの活動を振り返り、自らの進路選択に生かすようにする。



4 活動の振り返り

成果

- それぞれの体験で学んだことを、地域の方々や小学生に、様々な工夫をこらし発表することができた。

課題

- 文化祭の中での発表ということで、発表グループが限られてしまった。また発表の形態を工夫する必要があるように思われる。

ライフプラン発表会

- 1 実施期間
3月22日(木) 14:00~15:00
- 2 場所
丸森町立丸森中学校
- 3 発表者
宮城県伊具高等学校 第1学年



出前授業

- 1 実施期間
11月14日(木) 13:30~15:20
- 2 場所
丸森町立丸森中学校
- 3 発表者
宮城県伊具高等学校 機械系列
- 4 内容
電気自動車の開発



成果

- ・職業について、具体的なビジョンを持つことができた。夢をかなえるために必要な努力や、他者とのかかわりについて学ぶことができた

課題

- ・年間計画の中での位置づけを検討する必要がある。

志教育講演会

1 実施期間
7月10日(火) 10:30~11:45

2 場所
丸森町立丸森中学校

3 講師
本橋麻里さん
北海道北見市出身
平昌オリンピック出場
カーリング銅メダリスト
チームキャプテン



～ 生徒の感想から～

やはり、何を努力を積み重ねればその先の結果や栄光と
つなぐことはできないのだと改めて実感することができました。
どんなに優れた人であっても、衰えを必ず努力をしている。時には
努力と結果が比例しないこともあるけれど、いつか必ず何らか
の形で自分にいかえてくることは確かだと、本橋さんの公演を聞
いて気づかされました。私達3年生はこれから受験が待っています。
受験は人の人生のとても大事な勝負のときです。夢を夢で終わ
らせず、少しでも先の未来を見すえて本橋さんのような人生を送りたいです。
そして、本橋さんのように私達りの地元の誇りも見つきたいです。

成果

- ・生き方について、具体的なビジョンを持つことができた。夢をかなえるために必要な努力や、他者とのかかわりについて学ぶことができた。

課題

- ・どのような講演会を企画するのか、いつ行うのか等、年間計画の中での位置付けを検討する必要がある。